

キャンドル使用上の注意 ☆必ずお読みください☆

1 ご使用上の注意

- ①キャンドル使用の際は、必ず平らな場所でご使用下さい。
- ②就寝時や、そばを離れるときは必ず火を消したことを確認し ましょう。
- ③風の当たる場所、エアコンの風などで炎が揺れる状態で使用しないで下さい。不完全燃焼や、異常な燃え方は キャンドルの燃焼時間を短くし、引火の原因になる可能性があります。
- ④カーテン・書籍・紙類のすぐ近くでのご使用、電化製品などの高温な場所での使用はお控え下さい。
- ⑤直射日光の当たる場所はキャンドルの変質、変色の原因となりますので涼しいところ、埃のたまりにくい場所に保管してください。
- ⑥ご使用の際にはお子様やペット、お年寄りの方にご注意いた だきますようお願いいたします。
- ⑦キャンドルを処分される際はキャンドルそのものは可燃ゴミ、容器・金属などは不燃物など、各自治体のルールを守ってお捨てください。
- ⑧燃焼後のガラス容器は高温になっているため、急激な温度変化や水などがかかると、ガラス自体が破損する場合がございますのでご注意ください。
- ⑨適切なホルダー、プレート、その他の耐熱面の上でご使用して下さい。

2 使用方法

- ①キャンドルに点火する際、芯の先に点火すると芯だけが燃えてしまうことがありますので、芯の根元の方またはロウを溶かすようにして点火して下さい。
- ②キャンドルの<mark>芯は垂直に立ててください。</mark> 曲がっていると寿命が短くなったり、黒煙・油煙が出たりし ます。
- ③一度の点火は、約30~40分間持続して使用すると長持ち します。
- ④長い柄のライターやマッチを使用して、怪我ややけどに十分 ご注意下さい。
- ⑤マッチの柄の部分をキャンドル上に残したままにしないでください。発火・発煙や油煙などの事故の原因になります。
- ⑥狭い場所でキャンドルを灯すことは控え、定期的に換気をしてください。

3 キャンドルの消し方について

やすくなります

- ①ピンセット等で芯を掴み、溶けているロウの中に浸すように 消すのが良いでしょう。煙や異臭が抑えられます。 芯を倒したままにすると固まってしまうため、すぐに芯を垂 直に戻して下さい。芯がロウでコーティングされ、再点火し
- ②『スナッファー』と呼ばれる小物で火を消す方法もございま す。消す時に煙が少なく安全です。
- ③お水をかけて消すことは絶対におやめ下さい。
- ④吹き消すと煙が出て異臭がして空気が汚れます。またその際に高熱のロウが飛び散り、火傷や事故の原因になりますので絶対におやめ下さい。

4 お手入れ方法について

- ①芯を最適な長さにカットしてご使用することをお勧めいたします。
- ②キャンドルの芯の周りに埃が付着している場合は、柔らかな 布や保湿ティッシュ等で丁寧に取り除いてからご使用くださ い。そのままご使用になると燃焼時間を短くしたり、異常な 燃え方の原因や異臭を放つ恐れもあり、火災の要因にもなり かねません。

キャンドルに付けられた装飾は、必ず取り除いてから 点火してください

お問い合わせ



iridessa.candle@gmail.com

